

子どもの 貧困対策事業

-夜の子ども生活支援-

対象を狭めず、援助が必要な子どもに活動を届けています。子どもたちは、ひとりぼっちではなく人と接する温かさのある夜を過ごしています。

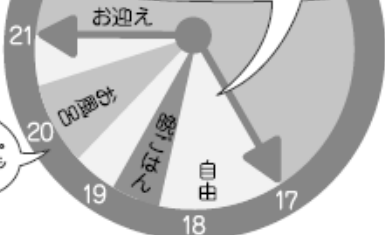
トワイライトステイ

山科区「こども生活支援センター」

商店街の空き店舗を活用した「こども生活支援センター」で、夜、家庭でひとりで過ごす小中学生たちが平日17時から21時まで、学生サポーターとマンツーマンで過ごしています。



カードゲームなどをして遊んだり、本や漫画を読んだり、勉強したりする時間。サポーターたちと思い思いに過ごします。



お風呂はご近所の銭湯まで…。子どもたちとの距離も自然と縮まります。



みんなワイワイかお喋りしてる
おいしいうたな家へ
楽しもうたな家へ



通学合宿(ナイトステイ)

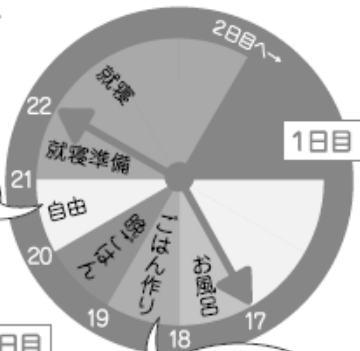
伏見区醍醐エリア

宿泊可能な法人施設を活用し、近隣の小学校と連携して、夜、家庭でひとりで過ごす小学生たちが平日17時から翌朝の登校まで、学生サポーターたちと過ごしています。

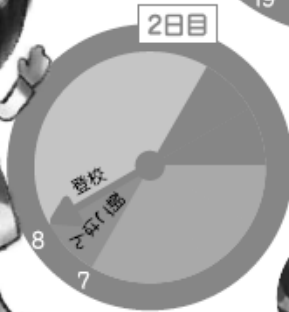


寝るときはベアのサポーターが横でいっしょに布団を敷いて寝ます。ちょっと手をにぎってさたり「何か話したら」とおだててさたり…

話をしたり、本を読んだり…好きな遊びや勉強などをする時間。



みんなで協力してごはんを作ります。みんなで作って食べるとおいしさも倍増です。



サポーターといっしょに宿題をしたりも…

